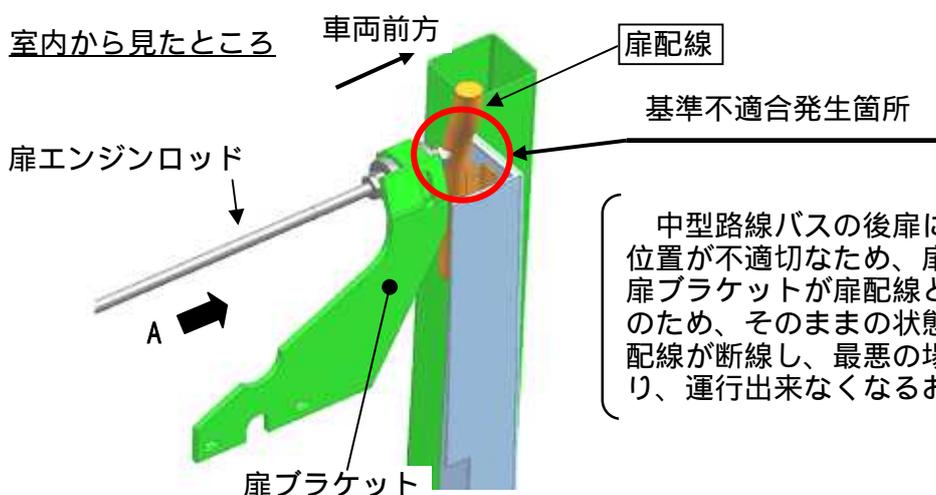
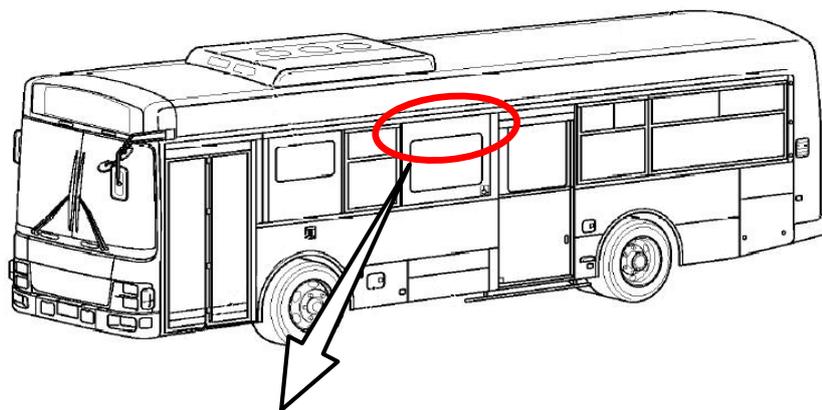


### 改善箇所説明図



中型路線バスの後扉において、扉配線の取付け位置が不適切なため、扉エンジンロッドもしくは扉ブラケットが扉配線と干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が断線し、最悪の場合、扉が開閉できなくなり、運行出来なくなるおそれがある。

矢視A

改善前	改善後	改善前	改善後	改善前	改善後
<p>扉配線</p>	<p>配線位置変更</p>	<p>扉配線</p>	<p>配線位置変更</p>	<p>扉配線</p>	<p>クリップ追加</p>

**改善の内容：**

全車両、扉配線の取付け位置を点検し、不適切なものにあつては、扉配線の位置を変更し固定するもしくはクリップを追加し扉配線を固定する。また、扉配線に損傷が見られるものは、当該配線を修理する。

識別：後扉点検口の開口部に白色ペイントを塗布する。

注：  は点検し、必要に応じ措置するものを示す。